

時評

数字を使ったキーワード

「3つの1億人問題」

出てきた。都市化政策を報告する中で触れられたもので、今年の都市化重点政策である。

「3つの1億人問題」とは、

中国の政策などでは、数字を使ったキーワードで全体を簡潔に表現する方法が多い。ここで作られたキーワードは、やがて単独でマスメディア紙面に展開されることになる。外から見ると立場としては、単独のキーワードだけでは理解不能になるのである。

①1億人余の農業からの移転人口を都市戸籍に移し、②1億人余が居住する都市バラック地区の（都市の中の村）を改造し、③1億人余の中西部の農民を近場の都市で就業させることである。これらを解決することが重点である。

今年の全人代政府活動報告でも、いくつかの数字を使ったキーワードが出てきている。本誌4月号の「全人代を読む」でも、習近平の「四つの全面」という言葉に触れた。

全人代の政府活動報告は、中国政府の今年度の政策が全面的に述べられるため、数字を使ったキーワードが多い。

その1つに「3つの1億人問題」というキーワードが新しく

て推進する。市設置基準を整備し、特大鎮（超大型の郡部）の権限拡張・機能強化テストを実行する。超大都市（常住人口1千万人以上）の人口規模を抑制し、地区級都市（省級と県級の間都市）・県都・中心鎮の産業・人口受容能力を高め、農民の近場での都市化に便宜を図る政策である。

これらの内容を持つ政策を、「3つの1億人問題」という一つのキーワードで表現されることが多くなる。

マクロ経済の「2つの目標」

「2つの目標」「2つを結びつける」「2つのエンジン」というキーワードも、マクロ経済の目標の項目で出てきた。

「2つの目標」は、①中高速成長の維持と②ミドル・ハイエンド水準への邁進であり、「2つを結びつける」は、①政策の安定・市場期待の安定と②改革促進・構造調整を結びつけることである。

「2つのエンジン」とは、①大衆による起業・万人によるイノベーションと②公共財・公共サービスの増加であるとしている。

キーワードだけが新聞記事に表示されても、それが意味するところはこれだけの政策内容があるということである。

李克強総理は全人代終了後の國務院常務会議で、「2つのエンジン」の育成を加速しなければならぬと発言している様に、キーワードを理解しておくことが必要なのである。

全人代政府活動報告は、2013年の中国共産党第3期中央委員会総会（三中全会）の「決定」を具体化するものであり、今年の政府活動報告は一段と整理され具体的な政策が提出されてきている。それだけに数字を使ったキーワードが出てくる可能性も多くなっている。

中国の政策を、中国新聞紙面から読み取るには、キーワードを理解し身に着けるまで苦労が続くのである。

（編集部）